

東京都配置協会の公益事業

第38回薬物乱用防止と薬草勉強会を開催

発行：日本置き薬協会 事務局

東京都の配置販売業者をまとめる（一社）東京都医薬品配置協会（高山友三郎会長）は、都民への薬事啓発活動の一環として、8月30日に東京都薬用植物園にて「第38回薬物乱用防止と薬草勉強会」を開催した。同園は東京都福祉保健局の管轄下であり、全国でも数少ない地方自治体による薬用植物園である。

同園内のホールにて「東京都における薬物乱用防止について」を東京都福祉保健局健康安全部薬務課麻薬対策担当主事の久保香織氏より、「薬用植物よもやま話」を薬用植物園受託事業統括管理責任者である（公社）東京生薬協会の山上勉氏より聴講。



その後、参加者は同園内にて栽培されている様々な薬用植物（都内唯一のケン栽培等）を同園職員の説明を聞きながら観賞した。開催当日のみ同園内駐車場には（公財）麻薬覚せい剤乱用防止センターが運用する薬物乱用防止キャラバンカーが駐車し、車内にて薬物乱用防止啓発ビデオが上映された。

上記の講演と勉強会の開催前に、協会会員により薬物乱用防止啓発街頭活動を同園近隣の西武拝島線東大和駅前で実施。「ダメ。ゼッタイ普及運動～麻薬覚せい剤シンナーの乱用をなくそう」と記された配置協会の幟を掲げ、乗降客にパンフレット、ポケットティッシュを配布した。



また、同会は6月26日、池袋駅西口公園で開催の「6.26国際麻薬乱用撲滅デー都民の集い」に会員27名が参加。同イベント来場者らに啓発資材を配布して、薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に汗を流し、薬務行政に協力した。永年に渡り参加する同会の公益事業である。

民の集いを開催。主催は、東京都、東京都薬物乱用対策推進本部、東京都薬物乱用防止推進協議会、厚生労働省、（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター。

東京都では薬物乱用のない社会を目指し、全国で展開される「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の一環として毎年、同都

その他、同会は10月22日に都内二か所の献血ルームにて会員と業界関係者に呼び掛けた献血事業を開催している。

本件に関するお問合せ先

日本置き薬協会 事務局

〒332-0034 埼玉県川口市並木2-30-6 内外救急薬品内
TEL. 080-5514-7511 FAX. 048-251-9657

日 置 協